

## 2 - 3 最近の秋田・山形県沖の地震活動について

### Recent seismicity off Akita and Yamagata prefectures

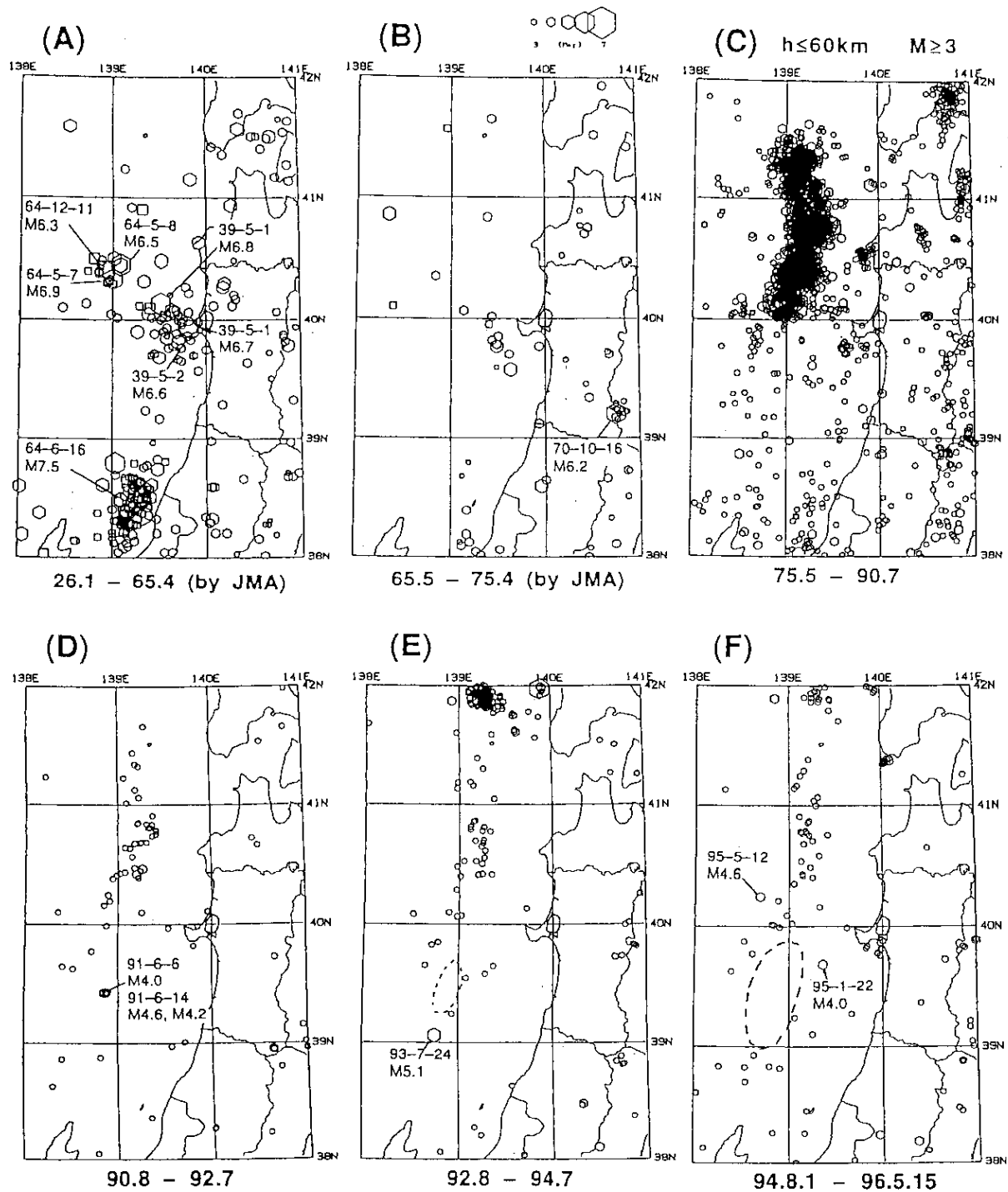
東北大学 理学部

Faculty of Science, Tohoku University

秋田・山形県沖に発生したM 3の地震の震央分布を第1図に示す。(D)~(F)は約2年毎の震央分布であるが、最近地震活動が全体的に活発になっているように見えるのに対して、(F)の破線で囲まれた部分がすっぱり抜けていることがわかる。

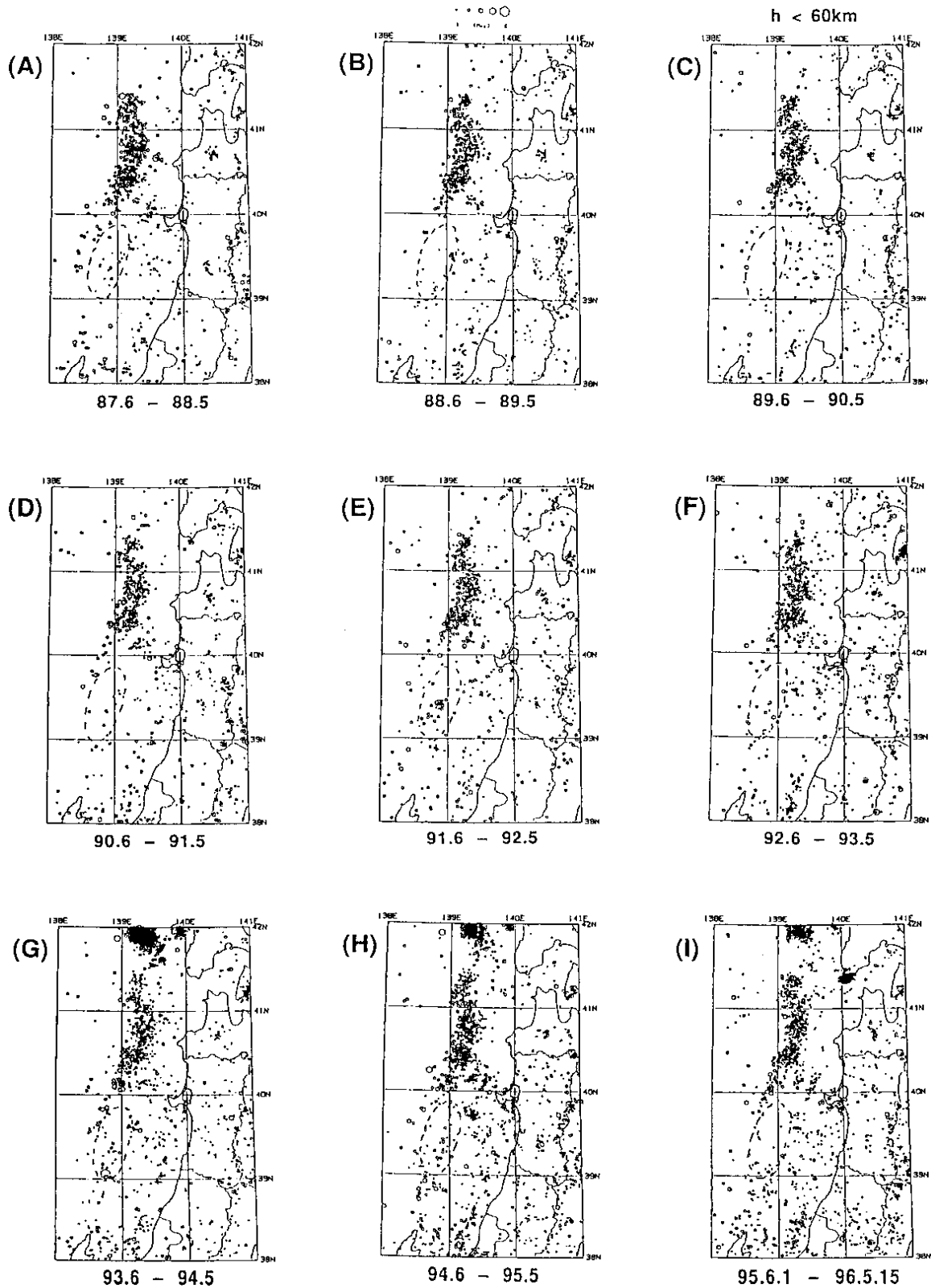
1987年6月以降の1年毎の微小地震の震央分布を第2図に示す。破線で囲まれた部分はもともと活動が低調であるためはっきりしたことはわからないが、最近5年間に注目するとこの破線の領域内とその周辺では活発な活動が見られていたにもかかわらず、最近1年間では破線の領域内ではほとんど地震が発生していない。

この付近のM 3の地震と微小地震の時空間分布を第3図(A)と(B)にそれぞれ示す。M 3の地震は1993年頃から空白域を形成しているように見えるが、微小地震活動がこの領域内で最近1年間ほとんど発生していないことがわかる。



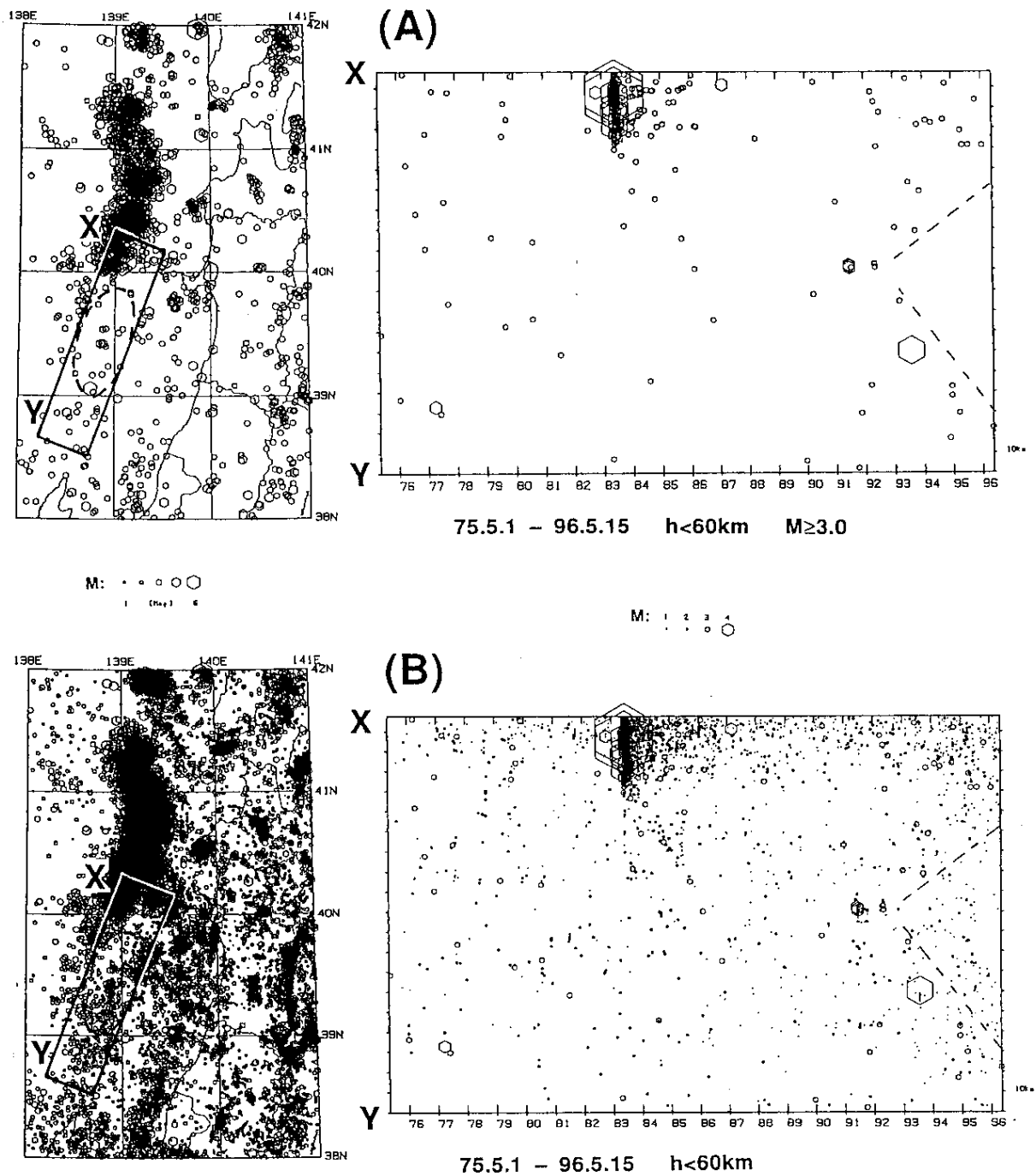
第1図 東北地方の日本海下におけるM 3の地震の震央分布の時間変化。(A)1926年1月~1965年4月(気象庁による)、(B)1965年5月~1975年4月(気象庁による)、(C)1975年5月~1990年7月。(D)1990年8月~1992年7月。(E)1992年8月~1994年7月。(F)1994年8月1日~1996年5月15日(1996年5月分のデータは自動処理による)。地震活動が静穏化していた可能性のある領域を破線で示す。

Fig.1 Epicenter maps for the events with M 3 western off Tohoku District. Possible seismic gap is indicated by broken line .(A)January ,1926-April ,1965 (determined by JMA) .(B)May ,1965-April ,1975 (by JMA) .(C)May ,1975-July ,1990 .(D)August ,1990-July ,1992 .(E)August ,1992-July ,1994 .(F)August ,1994-May 15 ,1996 .



第2図 1987年6月1日～1996年5月15日に秋田県沖およびその周辺に発生した浅発微小地震の1年毎の震央分布。地震活動が最近静穏化していた可能性のある領域を破線で示す。1996年5月分のデータは自動処理による。システムの変更に伴い、1994年5月から検知能力が向上していることに注意。

Fig.2 Epicenter maps every 1 year from June,1987 to May 15,1996. Note that detectability has been changed since May,1994 because of the alternation in detection system.



第3図 秋田県沖から山形県沖にかけての浅発地震の時空間分布。(A)M 3の地震。(B)微小地震。各図の挿入図の枠内の地震をXY軸に投影して示す。地震活動が最近静穏化していた可能性のある領域を破線で示す。1996年5月分のデータは自動処理による。システムの変更に伴い、1994年5月から検知能力が向上していることに注意。

Fig.3 Space-time distribution for (A)the events with M 3 and (B)microearthquakes .